

- ◆ 関門景観条例を制定した頃に誕生した小学校4・5・6年生の10歳前後の児童のみなさまに、10年後にもっと素晴らしい風景になっていることを願って、絵を描いていただきました。

あなたの未来にひろがる関門景観は、
どんな「うみ」「やま」「まち」「ひと」「いろ」
をしていますか。

入賞作品

★ 関門景観大賞 ★



「海で生き物と泳ぐぞ〜」

田中 のぞみさん (下関市・長府小4年)

わたしは、10年後の下関の「海」「山」「まち」はどうなっているのかな、と思いこの絵をかきました。

未来の平和をねがう思いを絵にこめました。

この絵をかくことで、あらためて、未来について考えることができました。

★ 下関市長賞 ★



「十年後の関門の四季」

大川 卓真さん (下関市・角倉小5年)

十年後の関門の景色を、四季の流れで表現しました。
春は、きれいな星と桜なみ木。夏は、緑あふれる山と花。
秋は、美しい満月と紅葉。冬は雪積もる山。

大学生の僕がいます。いつも美しい自然の中でくらしたいです。

実施概要

- 募集期間 平成23年7月～平成23年9月5日
 - 応募対象者 下関市・北九州市内の小学校・特別支援学校の4・5・6年生
 - 募集作品
 - テーマ 関門景観の『未来いろいろ』
 - サイズ 四つ切の大きさの画用紙
 - その他 作品は横書き・縦書き
描画材料は水彩画・クレヨン・はり絵等
 - 表彰内容
 - ★ 関門景観大賞 1名
 - ★ 下関市長賞・北九州市長賞 各1名
 - ★ 入選 10名
- * 19校・86名の方にご応募いただきました。
ありがとうございました！



表彰式(門司港レトロ展望室)



審査会

★ 北九州市長賞 ★



「未来の関門かきょう夏まつり」

吉富 日向太さん (北九州市・白野江小5年)

お盆の13日に、毎年行われる関門海きょう花火大会。
10年後、10さいのほくは20さいになってこの花火
を見ている。ほくは船に家族みんなと乗って、海の上から
花火を見たい。

工夫したところなど…黒でぬりつぶすところをくふうした。

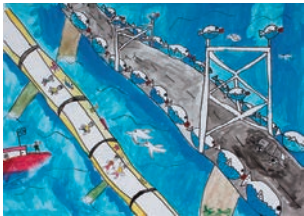
★ 入 選 ★



「海峡夢タワーへひとつとび！」

木本 力哉さん（下関市・角倉小5年）

ほくがすんでいるしものせきからにじのはしてあるいてわたりたいです。



「世界の関門橋」

岡田瞳舞さん（下関市・西山小4年）

下関のふくが10年後世界的に有名になって関門橋にふくの像がたくさんかざられる。人道はガラスばりになり、関門の海の中が見えるようになる。世界文化いさんになって有名になる。夜はふくがいっぱい光る。



「下関と門司をむすぶ美しい花火」

利光 祐紀さん（下関市・王江小5年）

家族でこの花火をみてキレイで美しい花火だったので絵にかきました。未来の下関は観こう客がもつとおとずれるゆたかな下関になってほしいなと思いながらこの絵をかきました。



「みらいの関門大橋」

岡 優作さん（下関市・神田小6年）

ほくが、未来を想像して、かいた絵の、一番上は、火の山と北九州をむすぶモノレール、その下には、通しよう車で、その下が、トラック専用で、その下には、海をゆっくり見れる歩道橋があって、その下に、電車が通っています。



「10年後の関門橋」

作田 和可さん（下関市・養治小5年）

この絵は、十年後の関門橋をイメージして書きました。十年後は、上はロープウェイで下が人が歩く道です。ロープウェイは、カラフルでいろいろなしゅるいがあります。歩道は、海のギリギリにあつて、はく力があるようにしました。十年後、本当にこうなってくれたらうれしいです。



「関門海きょうの未来」

勇士 大貴さん（北九州市・大里柳小6年）

関門海きょうがもつともつとカラフルになつてほしいからこの絵を描いたことと、いろいろある中で、関門海きょうの絵を書くことにしました。それと、この絵にチャレンジしようと思ったからです。



「関門海峡の未来」

中山 涼さん（北九州市・大里柳小5年）

関門橋には、リアモーターカーが走つていて、電力を使った乗り物がたくさん開発されて、小さな空港でも離発着できるようになる。山には風力発電が建ち、各家に発電システムがつく。今よりもつと交通が便利になつて、地球にやさしいエネルギーを使つて、人々は生活をしている。



「みんなえがおになれる未来の関門かいきょう」

原田 紗季さん（北九州市・大里柳小4年）

わたしは未来の関門かいきょうをみて、みんなが、えがおになれるよつという思いをこめて、書きました。わたしが一番むずかしかつたのは、しゃぼん玉の感じを出すために外がわをこく、内がわをうすくめつたところですよ。上手にできてよかつたです。



「門司港名物海底列車」

大島 愛加さん（北九州市・門司中央小5年）

この作品は関門海きょうにリフトと海底列車が通つているという絵で完成まで三日かかりました。白い輪は海底トンネルで、魚と遊泳している気分になれるというものです。



「未来の「うみ」」

浜本 誠也さん（北九州市・柄杓田小5年）

はじめは、関門橋の下に道ができて、人が歩けるといいなあとつたけど、きけんだと思ひ、人道が、暗いイメージがあるので、水族館のよつに、歩きながら、魚が見れるといいなあとつた。海の水ももつときれいになつてほしいです。

こどもの頃から、地域のこつを思ふ気持ちを育むこつは大事です。
10年後の関門景観がどのよつな姿になつているか、
みなさん思ひ描いてみましよう！